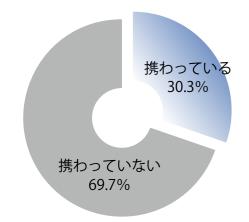
グラフ② 10年後の耕作状況 出典:平成31年農業経営意向調査【市農政課】



グラフ③ 農業(専業・兼業問わない)に携わ っている人の割合 出典:令和元年度市政全般 に関する市民意識調査【市政策経営課】

# 農業離れ生活様式の変化による

ことも相まって、 かになりました。 業に全く携わっていないというこ 整備や大型機械の導入が進んだ 市民意識調査結果から明ら でも、 園産業都市を掲げる安曇野 約7割の市民が、農 農家の兼業化が (グラフ③) 農業生産基盤 少数の大

進みました。

現在では、

を目指し

「農村」を守って

象に実施した10年後の耕作状況調 (グラフ②) 「10年後には耕作者が では、 いる農家を対 回答者の約

ます。 れます。 風景であり、 たり前にある景観や環境が維持で きなくなる可能性があります。 も結びつく安曇野のシンボル的な 田園風景は、 地域ブランドと

がともになって市民の財産である の農業を確立し、 ないでいくためにも、産業として 市では、この財産を次世代へ 観光や他の産業と このままでは今当 消費者と農業者

離れ」は今後も進むことが予想さ 兼業農家も減少し、 規模専業農家や集落営農組織を中 心に農地が保全されていますが、 地域の

「農業

■40~49歳 ■50~59歳 ■60~64歳 ■65歳以上 グラフ① 年齢別農業就業人口の構成 出典:農林業センサス

の農業にも大きな影響が出ること

H22

H27

ン減産が必要となります。

1,000

この大幅な減少により、

ことに加え、

前述したコロナ禍の

2,000

341 727 856

全国で約30万ト

化で米の消費量が減少傾向にある

人口減少や食生活の多様

3,000

要に応じた生産を行っています。 安値に収まるよう連携しながら需 域のJAや農業再生協議会等が目 生産量の「目安」が設定され、

令和3年産の主食用米の適正生

4,000

4.212.

4.924人

5,000

(平均年齢:69.2歳)

6,000

(平均年齢:68.4歳)

7,324人

その数値に応じ、

都道府県ごとに

7,000

(平均年齢:63.8歳)

8,000

合った適正生産量を国が設定し、

## 米の需要が大幅減コロナ禍で

考えよう。

需要量は、 う外食産業の落ち込みなどによ 現在、米の生産量は、 本年6月までの1年間の米の ロナウイルス感染拡大に伴 全国で前年同時期と比 ン減少しました。 需要に見

### 農業者の高齢化が進行 減少が加速しており、 本の農業・

齢化が深刻です。 も農業者の減少や農業従事者の高 少子高齢化・ (グラフ(1) 安曇野市で

農村を取り巻く

みんなで安曇野のお米を食べよう

口減少や食生活の多様化により、お米の消費量は減少傾向にあり、私たちがごはんとして食べるお米の 需要量は、全国で毎年 10 万トンずつ減少しています。これは、市で 1 年間に生産されるお米の 5 倍以 上に相当します。例年、新そばと食の感謝祭・農林業まつりでは、農業関係団体がお米の消費拡大を PR し ていましたが、今年は残念ながら中止になってしまいました。そこで、次の緊急企画を実施します!

#### Instagram ハッシュタグキャンペーン!

#安曇野のお米のある風景 #安曇野のお米のある食卓

みんなで安曇野のお米を PR しよう!安曇野市農業再生協議会インスタ グラムアカウント(tsunagu\_azuminoutoshoku)をフォローし、上記の ハッシュタグを入れて、写真や動画を投稿してください。

11月18日(水)~令和3年1月15日(金)

投稿者には抽選で下記賞品をプレゼントします。

- ●市内直売所おすすめ「ごはんのおともセット」 5名様
- ●安曇野市産のお米(風さやか) 5 kg 10 名様

詳細は、安曇野市農業再生協議会 HP をご覧いただくか、 農政課農業政策係(左記)までお問い合わせください。





(10月20日)

#### 第3次農業・農村振興計画策定に向けて

では、基幹産業である農業と、市民の生活基盤である農村の振興のため、「農業・農村振興計画」に基づき、 さまざまな取り組みを進めています。現在、令和4年度からの第3次計画策定に向けた検討が始まりました。 今後の農業農村の方向性を検討する大事な計画となりますのでご協力をお願いします。

#### アンケート調査を実施します

- ●対象 市内に住所を有し、10~以上の農地を耕作する農業経営体主(個人・法人、※個人は対象者から 1,000 名を無作為抽出)、認定農業者
- 配布方法 12 月初旬に郵送(返信用封筒を同封)●回答期限 令和3年1月15日(金)



#### 会長メッセージ

#### 市民一丸で「田園を守る」

市内で営農する多様な担い手が活躍し、健全な経営ができるよ うな仕組みづくりを計画の中で検討していきます。農家は、使命 感を持って農業に取り組んでいますので、非農家の皆さんも一緒 に、これからの安曇野の農業について考えていけたらと思いま す。その一歩として、地元生産者の農産物を食べることで、安曇 野の農業を応援していただきたいと思います。

中島完二さん 安曇野市農業委員会長(上記計画推進委員会委員長)

■問い合わせ 農政課農業政策係 (四71·2427 風71·2507)